

4年間

新規事業  
＜モデル事業＞

# 発達が気になる子どもと家族を地域で支える

## —ESSENCEチームによる地域支援—

### 市町村

#### ●乳幼児健診

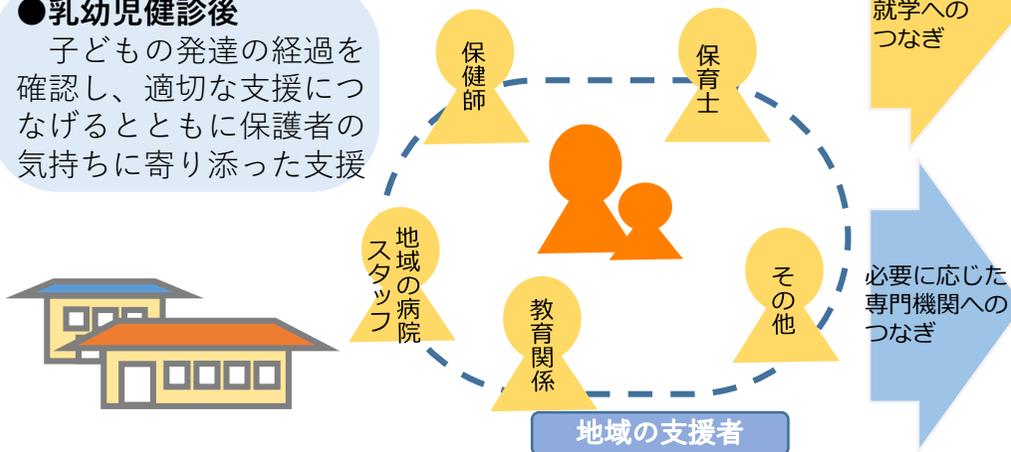
子どもの発達の見立て

#### ●乳幼児健診後

子どもの発達の経過を確認し、適切な支援につなげるとともに保護者の気持ちに寄り添った支援

#### ●保育所

集団の中で日常的に子どもの特性に応じた支援



発達が見守られ、安心して地域で生活できる支援体制を地域内で構築

スムーズな就学へのつなぎ

必要に応じた専門機関へのつなぎ

### ＜事業の目的＞

#### 発達に気になる子どもと家族を地域で包括的に支える体制の強化

・地域の支援者（母子保健・保育・教育・専門職等）が、発達に気になる子どもと保護者をサポートする、地域に根ざした支援体制をつくる。

#### 発達に気になる子どもに対する支援力の向上

・地域の支援者がESSENCEの視点を通して子どもをアセスメントし、必要な支援につなげることができる人材になるとともに、保育所における発達に気になる子どもの対応スキルの強化を図る。



#### 発達に気になる子どもの支援体制構築の手法を他の地域に普及

・子どもの発達をみる視点のひとつである“ESSENCE”を支援者と保護者が共有し、早期に支援につなげる体制づくり。

・モデル地域で実践した地域の支援者との連携や発達に気になる子どもと保護者への支援方法などを他の地域に応用し、地域の実情に応じた支援体制の充実を図る。

（ESSENCEチームによる体制づくりの支援、保育所での支援方法について保育士対象の研修会を開催など）

### ESSENCEチームがサポート



心理職  
言語聴覚士 等

● **乳幼児健診に参加し**、保健師や地域の専門職の子どもの発達の見立てに対して、スーパーバイズする

● 健診後、保護者が子育てや子どもの発達について相談できる場（**親子相談会など**）に参加し、子どもの発達の経過をみたり、保護者をサポートする保健師や地域の専門職に対してスーパーバイズする

● **保育所を訪問し**、発達に気になる子どもが安心して過ごせるための環境作りや、具体的な対応方法等について、保育士や地域の専門職に対して、スーパーバイズする

「ESSENCE-Q」（アセスメントツール）を使用

※支援者全員が、共通の視点（ESSENCE）で子どもの発達をみて、何らかの支援が必要な子どもを見逃さず、支援する。

### ＜SV内容（例）＞

- ・教室の環境調整（視覚支援や構造化等）
- ・コミュニケーションを促す関わり方
- ・社会性を育む関わり方
- ・日常生活動作の教え方
- ・インテンシブラーニングの要素を取り入れた支援方法
- ・集団場面での支援
- ・個別場面を活用した支援

他